

仏教・宗教

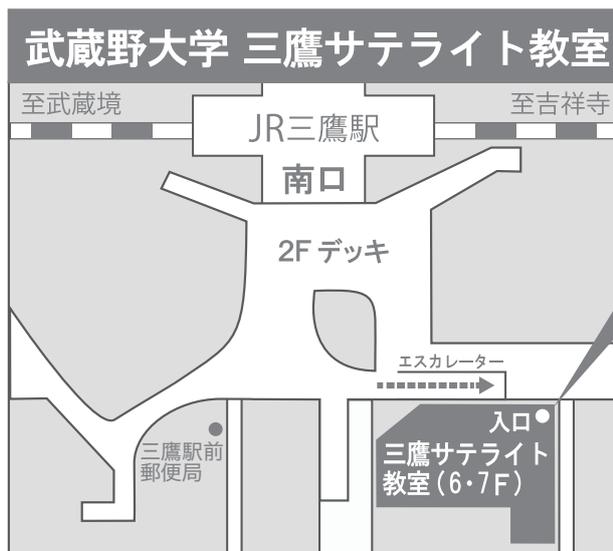
三鷹

312002

## 『教行信証』『行巻』御自釈を読む

受講料 (振込額)	7,500円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	水曜日		日程 11月6・20日 12月11日 1月8日 2月5日	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全5回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学准教授 <b>前田 壽雄</b> (まえだ ひさお)				
	龍谷大学大学院文学研究科博士課程真宗学専攻単位取得。浄土真宗本願寺派宗学院卒業。 龍谷大学非常勤講師、浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員を経て、現在、本学通信教育部准教授。 著書に『「ただ念仏」の教え―法然聖人から親鸞聖人へ―』(探究社)、『仏事Q&A 浄土真宗本願寺派』(国書刊行会)、『書いて味わう讃仏偈 重誓偈』(本願寺出版社)他。				
内容	親鸞聖人の主著であり、浄土真宗の根本聖典である『顕浄土真実教行証文類』(『教行信証』)には、浄土真宗の教義体系が組織的に示されています。「教巻」では、二回向(往相・還相)四法(教・行・信・証)の浄土真宗の大綱を示して、真実の教とは『大無量寿経』であることを顕しています。『大無量寿経』は、釈尊出世本懐の経典であり、この経典の最も肝要なことがらは阿弥陀仏の本願にあり、その本質を名号であるとしています。 これを受け、今回の講座ではつづく「行巻」を、御自釈を中心に読み進めていきます。御自釈とは、親鸞聖人が自身の言葉で解釈した文をいいます。「行巻」には、阿弥陀仏の本願の一つである「諸仏称名の願」(第十七願)を主題とし、「浄土真宗の行」とは何か、「選択本願の行」とは何かを問題としています。それは称名念仏の意味やそのはたらきについて明らかにすることです。『教行信証』『行巻』を通して、みなさんと共に親鸞聖人における念仏をたずねていこうと思います。				
	※参考図書：『浄土真宗聖典一註釈版 第二版―』浄土真宗本願寺派 総合研究所(編) 本願寺出版社 ※こちらの講座は、大学の記録用としてビデオの収録をさせていただきます。講師を中心に教室の後方から撮影をし、個人が特定できないように配慮いたしますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。				
	①11月6日：大行の意義 ②11月20日：称名破満 ③12月11日：六字釈 ④1月8日：光明と名号と信心 ⑤2月5日：他力釈と一乗海釈				

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビルディング

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。